

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム江並「福寿苑」

## 目標達成計画

作成日: 平成25年4月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	グループホームでの生活はどうしても生活の幅が狭くなり、人間関係や地域社会との関わりが閉鎖的になりがちであり、そのためには地域社会と多くの接点をもちながら、継続的に交流が出来るよう支援をしていきたい。	近くの喫茶店やマクドナルドへ遊びに行く回数が増やしたり、買物も一緒に行ったり、また、地域内の保育園や小中学校の子供たちとの交流を継続的に持てるよう働きかけたい。	喫茶店やマクドナルドへは、なるべく多く出掛け馴染みさんになり、帰りには期日遅れの雑誌など頂くようになっていきます。近隣の百円ショップにも一緒に出掛けたりしています。また、地域内の保育園や小中学校の子供たちとも継続的な交流が出来るよう働きかけたいと思います。	6ヶ月
2	36	居室の入口のドアの一部分が透明ガラスで夜間等の見守りが容易に出来るようにしていましたが個人を尊重し、誇りやプライバシーを守るという観点が欠けていたと思われる。	利用者の誇りやプライバシーを損ねていないかなど、再度、職員会議で話し合い、事業所全体で取り組む。居室の入口ドアの出窓にはカーテンを付ける。トイレは常に布のカーテン及びアコーデオンカーテンを必ず閉めるようにする。	職員会議で利用者に慣れからくる、誇りを傷つけていないか、プライバシーを損ねていないか等プライバシー確保について再認識を話し合った。また、居室の出窓には全室布のカーテンを取り付け、さらにトイレの布のカーテンとアコーデオンカーテンは必ず閉めるよう再認識をしています。	終了
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。